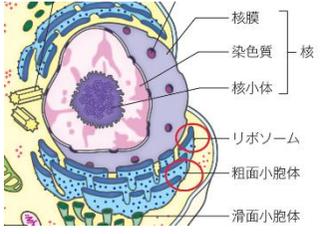
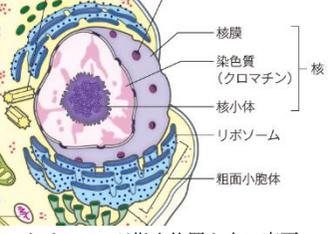


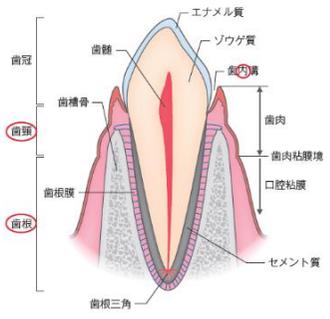
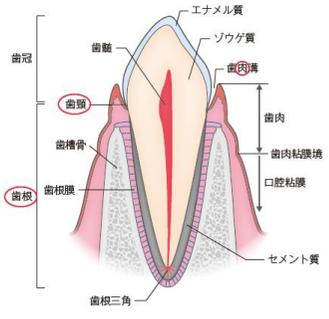
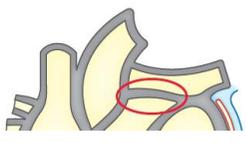
『ビジュアルで学ぶ伴侶動物解剖生理学』（2刷） 訂正とお詫び

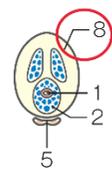
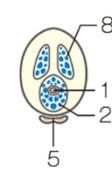
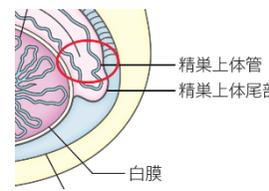
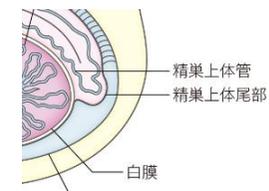
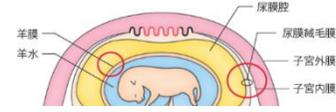
ISBN978-4-89531-218-9

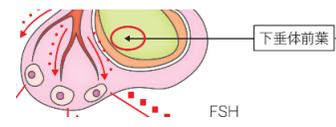
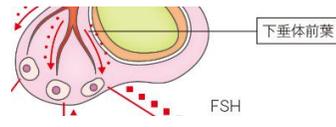
下記の箇所に誤りがございました。訂正するとともに深くお詫び申し上げます。

株式会社 緑書房

| 訂正箇所 | 誤 | 正 |
|---|---|--|
| p.15 図 1-2 |  |  ・リボソームが指す位置を点に変更 ・粗面小胞体全体を指すように変更 |
| p.22 1行目 | アクチン <u>頭部</u> とミオシンが | アクチンとミオシンが |
| p.29 コラム左 2行目 | 胸膜が破れて | <u>肺</u> 胸膜が破れて |
| p.30 注釈：胸郭 1行目 | (助硬骨と助軟骨) | (<u>肋</u> 硬骨と肋軟骨) |
| p.40 ①頭骨 1行目 | 19種類 | 18種類 |
| p.40 ①頭骨 1行目, 表 2-3：1行目 | 神経頭蓋 | 神経 <u>部</u> |
| p.40 ①頭骨 2行目, 表 2-3：2行目 | 内臓頭蓋 | 顔面部 |
| p.40 表 2-3：1行目 | 鋤骨 | 鋤骨* ・鋤骨を表の2行目に移動、表の注釈として以下の一文を追加 *鋤骨は神経部に分類されることもある。 |
| p.41 コラム右 4行目 | 第1胸椎から第10胸椎のあいだ | 第 <u>2</u> 胸椎から第10胸椎のあいだ |
| p.42 ④橈…見出し, p.47 ①四…10行目, p.49 表 2-7：3行目 | 橈 | <u>橈</u> |
| p.45 E関節 5行目, p.46 図 2-8 左 | 線維性関節包 | 線維層 |
| p.45 E関節 6行目, p.46 図 2-8 左 | 滑膜 | 滑膜層 |
| p.45 E関節下から 4行目 | 関節腔内 | 関節 <u>包</u> |
| p.52 下から 2行目 | 外側・内側 <u>上</u> 顎 | 外側・内側顎 |

| 訂正箇所 | 誤 | 正 |
|------------------------------|---|---|
| p.57 図 3-3 |  |  ・歯肉溝→歯肉溝に変更 ・歯頸, 歯根の位置を変更 |
| p.58 図 3-4 左 | 中オトガイ孔 | オトガイ孔 |
| p.60 注釈：歯式 5行目 | 312/313 | 313/312 |
| p.61 [4]唾…4行目 | 頬骨腺 | 頬骨腺 |
| p.61 [4]唾…6行目 | 下顎線と単孔舌下線 | 下顎 <u>腺</u> と単孔舌下 <u>腺</u> |
| p.61 注釈：単…2行目 | 単孔舌腺 | 単孔舌下 <u>腺</u> |
| p.63 図 3-8 左 | 腸管膜 | 腸間膜 |
| p.63 図 3-8 右 | 外輪走筋 | 外 <u>縦</u> 走筋 |
| p.66 [2]大腸 1行目 | 水, ビタミン, 電解質の | 小腸で吸収しきれなかった水や栄養素（電解質やビタミン）などの |
| p.70 5行目 | 肝管 | 肝管, <u>総胆管</u> |
| p.81 Q5③ | たんぱく質 | <u>脂質</u> |
| p.81 Q5⑤ | 脂溶性の | <u>水溶性</u> の |
| p.82 ①外…6行目, p.85 図 4-3 右 | しんてい 心底部 | しん <u>き</u> てい 心 <u>基</u> 底部 |
| p.86 注釈：心…1行目 | 0.3~5.5mL | (0.3~5.5mL/ <u>頭</u>) |
| p.86 図 4-5 左 |  |  ・囲み部分を削除 |
| p.89 [3]主…5行目 | 内側在静脈 | 内側 <u>伏</u> 在静脈 |
| p.94 図 4-11 右 | 内腸骨リンパ節 | 内側腸骨リンパ節 |

| 訂正箇所 | 誤 | 正 |
|---|---|---|
| p.100 ②気…3行目 | しゅうまつきかんし 終末細気管支 | しゅうまつさいきかんし 終末細気管支 |
| p.100 ①肺…1～2行目 | みぎはい ひだりはい 右肺 / 左肺 | うはい さはい 右肺 / 左肺 |
| p.110 [2]実…10行目 | 皮質には腎小体、曲尿細管、ネフロンループが、髓質にはネフロンループ、集合管が | 皮質には腎小体、 <u>尿細管</u> 、 <u>集合管</u> が、髓質には <u>直行する尿細管</u> 、 <u>集合管</u> が |
| p.123 図7-1 [b] : C |  |  ・8が指す位置を変更 |
| p.124 図7-3 上 |  |  ・精巣上体管が指す位置を変更 |
| p.125 [3]雄… 1行目、3行目、 p.144 [1]雄…3行目 | 精管膨大部 | <u>膨大部</u> |
| p.125 [3]雄…3行目 | 前立腺 | <u>膨大部腺(ただし未発達)</u> と前立腺 |
| p.126 コラム左2行目 | 寛骨 | <u>骨盤</u> |
| p.127 [1]雌…1行目 | 卵巣間膜 | <u>卵巣間膜と卵管間膜からなる</u> |
| p.128 図7-5 b キャプション | 右側の | <u>左側の</u> |
| p.129 6行目 | 生殖器(尿道)と泌尿器(脛)が | 生殖器(<u>脛</u>)と泌尿器(<u>尿道</u>)が |
| p.136 ②猫…11行目 | ならば 腹這い | はらば 腹這い |
| p.140 図7-16 : b |  |  ・羊膜と尿膜絨毛膜が指す位置を変更 |
| p.140 注釈：羊水2行目 | 羊膜腔 | <u>羊膜腔</u> |

| 訂正箇所 | 誤 | 正 |
|--|---|--|
| p.147 図7-21 右, 図7-22 左 | 糞洞 / 尿洞 / 肛門洞 | <u>糞道</u> / <u>尿生殖道</u> / <u>肛門道</u> |
| p.152 [3]内…1行目 | 傍分泌の3種類が | 傍分泌、 <u>自己分泌</u> が |
| p.154 図8-3 |  |  ・下垂体前葉が指す位置を変更 |
| p.158 [1]膝…4行目 | 自立神経 | <u>自律神経</u> |
| p.168 ②橋2行目 | <u>中</u> 小脳脚 | 小脳脚 |
| p.177 図9-14 | メルケル盤 | メルケル <u>細胞</u> |
| p.182 ①眼…1行目 | 後方 5/6 は強膜, 前方 1/6 は角膜 | 後方 3/4 は強膜, 前方 <u>1/4</u> は角膜 |
| p.184 ・毛…5行目 | 毛様体筋が収縮すると、毛様体から伸びる毛様体小帯が水晶体を引っ張り、水晶体の厚みが薄くなります。逆に毛様体筋が弛緩すると毛様体小帯がゆるみ、水晶体の厚みはもとに戻ります。 | 毛様体筋が収縮して厚みが増すと、毛様体と水晶体のあいだの距離が縮まるため、毛様体から伸びる <u>毛様体小帯がゆるみ、水晶体が厚くなります</u> 。逆に毛様体筋が弛緩すると、毛様体小帯が緊張して <u>水晶体が薄くなります</u> 。 |
| p.198 図11-2 上, p.200 2行目 | 静脈洞 | <u>毛静脈洞</u> |
| p.200 [2]羽…1行目 | わたばね 綿羽 | めんろう 綿羽 |
| p.201 図11-8 中央 | 未節骨 | <u>末節骨</u> |
| p.202 ①乳腺 3行目、5行目、 p.203 図11-9 犬、ウサギ | 乳房 | <u>乳頭</u> |
| p.218 Q3② | 悍状核球 | <u>桿状核球</u> |
| p.225 [2]胸腺3行目 | 位置します(図13-5)。 | ・図参照指示を5行目に移動 区分されます(図13-3)。 |